

第2回 光陽地区公民館と高齢者ふれあいセンター朝陽の機能集約に向けた意見交換会

日 時：令和6年6月1日（土）10：00～11：20

場 所：高齢者ふれあいセンター朝陽 2階 集会室

出席者：（生涯学習部）池内部長、井出生涯学習課長、加柴主幹、畑部担当長、田中担当員

（福祉政策課）田中課長、西川担当主幹、前田主任

（公建マネ課）頓花参事

1. デイサービスセンターの改修について ※別紙1参照

（公建マネ課）

【1階】

- ・浴室と脱衣所を仕切る壁を取り払い、多目的ホール1を可能な限り広くする（約6m×10m）。なお、点線は、卓球台の寸法を示している。
- ・厨房内にある壁を取り払う。
- ・現風除室のスペースを多目的便所に改修する（男女別とするスペースはない）。

【2階】

- ・現デイルーム内の間仕切りを取り払い、多目的ホール2を可能な限り台形に近い形とする。
- ・多目的ホール2には、卓球台が2台程度設置可能となる見込み。
- ・多目的ホール2内の女子トイレは撤去し、男子トイレは倉庫に改修する。

（利用者）

デイサービスセンターの2階デイルームのトイレはなくなるのか。1階まで移動しなければならないのは不便ではないか。

（生涯学習部）

第1回意見交換会において、光陽地区公民館の利用団体から、館内に保管している物品について、機能統合後の施設に移動を希望する意見が複数挙がったことから、それらの保管スペースを確保するために改修案を再検討し、今回デイサービスセンターの2階トイレを倉庫に改修する案をご提示させていただいた。

2階にトイレを設置する方が良いということならば、保管物品はデイサービスセンターの1階更衣室を倉庫として利用するのも一案だが、皆様からのご意見を伺いたい。

(利用者)

物品を取るために階を移動しなければならないのは不便だと思う。加えて、更衣室として利用できなくなるのは不都合が生じるのではないか。

(生涯学習部)

更衣室が必要ということならば、デイサービスセンター 1 階の多目的ホール 1 のどこかに物品の保管スペースを確保できないかなどを検討する必要がある。いずれの案を採用するとしても、光陽地区公民館に置いている物品すべてを移してくることは難しい。

(利用者)

光陽地区公民館において「子ども卓球」の道具を保管している。デイサービスセンターの 2 階あるいは 1 階に倉庫が設置されるならば、そこで保管させてもらえたらと思う。

(生涯学習部)

更衣室は必要か。⇒必要ありとの声なし

(利用者)

多目的ホール 1・2 は、いずれも会議等もできる部屋とするのか。

(生涯学習部)

現時点ではそのように考えている。

(利用者)

机や椅子を常時設置する場合、活動スペースが狭くなってしまうのが懸念される。

(生涯学習部)

机は折りたたみのものとし、椅子とともに壁際に寄せて保管する形を考えている。

(利用者)

必要に応じて机や椅子を出し入れするということか。利用者の多くが高齢者のため、負担になるのではないか。

各団体が机や椅子をどれだけ必要とするかを把握した上で、会議等に使用するスペースと、運動等に使用するスペースを区切り、机と椅子の出し入れが必要ないようにする方が良いと思う。

(生涯学習部)

市立公民館・中央地区公民館の多目的ホールでは、机と椅子を必要に応じて出し入れしていただく形で運用しているが、特段、支障があるという声は聞かれない。

もしくは、多目的ホール1・2のいずれかを会議等に使用する部屋と限定し、常に机と椅子を設置するというのも一案である。これについてご意見があれば伺いたい。

(利用者)

室内の一面に机や椅子を寄せて保管する場合、その状態で卓球等運動・スポーツを行うのは危ないのではないか。

また、デイサービスセンターの1階厨房はそのまま残るのか。このスペースを物品の置き場所とできないか。

(生涯学習部)

調理機能は残す。ただし、カウンターキッチンにするなど、交流や居場所づくりの場として利用いただけるような改修を検討している。そのため、物品の置き場所とすることは難しい。

(利用者)

改修案にあるデイサービスセンターの2階倉庫は配置的にも形としても非常に使いづらいと思う。階段辺りの一面を倉庫とする方が良いのではないか。せめて、扉の開閉位置を室内手前(PS側)とすることはできないか。あるいは、倉庫とする予定の場所にある壁を取り払い活動スペースを確保した上で、部屋の手前(ホール側)の壁沿いに収納スペースを設置することはできないのか。

(公建マネ課)

PSは給排水管や電気配線を取めるスペースである。希望どおりに改修可能かどうかは見てみないことにはわからない。ちなみに、1階と2階のPSは繋がっている。

(生涯学習部)

倉庫の扉位置変更については、可否を確認させていただく。

(利用者)

倉庫の必要の有無について、今一度検討が必要ではないか。

(生涯学習部)

第1回意見交換会で挙げられた、各団体の物品の保管スペースが必要との意見を踏まえ、今回の改修案をお示ししている。当初案からの変更点として2階にトイレがなく

なったことでご不便をお掛けすることにはなるが、デイサービスセンターにもエレベーターが設置されており、ご高齢の方についても移動いただけるものと考え、このような提案をさせていただいた。

(利用者)

部屋は正方形に近い方が使い勝手が良い。階段下を収納スペースに利用できないか。

(公建マネ課)

倉庫を作らずに部屋の壁面に収納スペースを設置するのも一案である。まずは、どの位の物品があるのかを教えていただいた上で、どのような手段があるかを検討させていただく。

(利用者)

1階多目的トイレとなる位置に、2階トイレも設置できないか。

(公建マネ課)

2階はベランダとなっており、ご希望内容で改修を行うことはできない。コンビニにあるような狭いトイレであれば、2階ホール内に設置可能かもしれないが、これについても検討が必要である。

(生涯学習部)

館での保管を希望する物品の容量については、後日改めて光陽地区公民館の各利用団体の皆様に調査をさせていただく。回答をいただくにあたっては、スペースが限られていることから、希望内容の全てを叶えることは難しい可能性があることをご理解いただいた上で、自宅から持参いただく方法に切り替えられないかも含めてご検討いただきたい。

(利用者)

多目的トイレは男女兼用且つ1人しか入れないようなものになるのか。

(公建マネ課)

お見込みのとおり。

(利用者)

トイレが少ないと思う。

(利用者)

トイレについては、高齢者ふれあいセンター朝陽側も活用して貰えば、そこまで問題は生じないのではないかと。

(生涯学習部)

デイサービスセンターの2階トイレは室内に設置予定のため、利用しづらいのではないかとと思うが、これについてご意見を伺いたい。

(利用者)

模型で完成形を見せてもらうことはできないか。

(公建マネ課)

模型作成は出来かねる。

(利用者)

高齢者ふれあいセンター朝陽にもトイレがあるとはいえ、デイサービス側とは建物が繋がっていない。わざわざ別の建物へ移動する必要があるというのは、季節によっては大変不便に感じる。

(生涯学習部)

高齢者ふれあいセンター朝陽の1階事務室辺りから外に出て、デイサービスセンターの建物へ移動いただけるよう、両建物に出入口の設置を検討している。また、建物間の動線には屋根を設置し、雨天でも支障なく移動いただけるようにする予定である。ただし、建物自体を繋ぐわけではないため、寒さ・暑さについてはご不便をお掛けする。

(利用者)

改修工事は、いつ開始されるのか。

(公建マネ課)

早ければ令和7年6月～7月頃開始となる。

(生涯学習部)

改修費用を令和7年度予算として要求する。皆様からいただいたご意見を最大限叶えるべく尽力するが、要求通りに予算が付くかは不確定である。

2. 利用調整について ※別紙2 参照

(生涯学習部)

別紙2は高齢者ふれあいセンター朝陽、光陽地区公民館の各利用団体について、現在の活動日時及び人数を参照し、機能統合後の利用想定案をお示ししているものである。ただし、休館日は水曜日と仮定し、光陽地区公民館において、現在水曜日に活動している団体については、活動日を月曜に変更すると仮定して作成している。

この利用想定に依れば、利用日時の重なりはない。ただし、クラブの活動日時等は変更の可能性がある、また施設の改修内容によっては、本想定のとおりにならない部分が出てくるため、各団体と協議しながら利用調整を進めていく。

(利用者)

一覧において、クロリティ（記号：r）は月1回活動となっているが、実際には第2週と第4週の月2回活動を行っている。

(利用者)

青少年指導員は毎月第2木曜日の夜に活動しているが一覧に記載されているか。

(生涯学習部)

青少年指導員の活動については記載できていないため、追記させていただく。

(利用者)

改修案に対する意見としても述べたことだが、机の出し入れが負担になるので、利用調整案を見直していただき、会議等機を必要とする活動スペースと、軽運動で使用するスペースは分けて欲しい。

(利用者)

光陽地区公民館においてコーラス活動をしているが、キャスター付きの机を使用している。機能統合後の部屋にキャスター付きの机がないのであれば、光陽地区公民館から移してきて欲しい。

(生涯学習部)

デイサービスセンター側には机や椅子がないため、光陽地区公民館から移す予定である。

(利用者)

光陽地区公民館の地下の部屋には卓球台が6台ほどあると思うが、機能統合後は、複数の部屋を利用するとしても、同じ数の設置は不可能と思われる。そのため解散を余儀

なくされる団体が多く出てくるのではないか。せめて、卓球で活動する団体については、広い部屋を優先的に利用できるようななどの調整が必要ではないか。

また、現在高齢者ふれあいセンター朝陽の２階集会室で卓球をしているが、床が固く怪我の危険性が高いと感じている。今回の改修に併せて、床を柔らかい素材にすることも検討いただきたい。

(公建マネ課)

比較的厚みのあるゴム素材に変更することは可能かと思う。

(利用者)

デイサービスセンター２階の床は軽運動に適したものか。１階に音が響くことはないのか。

(公建マネ課)

フローリング素材で学校の教室と同様のものと思うが、１階にどれだけ音が響くかは実験してみないとわからない。

(生涯学習部)

床の仕様についても、ご意見を踏まえ検討させていただく。

(利用者)

光陽地区公民館に置いているピアノはどうなるのか。利用想定のとおりワクワクコーラスが活動するデイサービスセンター２階の多目的ホール２に設置するとなると、活動スペースが狭くなってしまうのではないか。とは言え、一旦、据え置くとピアノの移動は困難と思われるため、いずれかの決まった場所に常設の方が良いと思う。

(生涯学習部)

本日お示ししているのはあくまで案である。ピアノの移動の可否、設置場所については改めて検討させていただく。

(利用者)

高齢者ふれあいセンター朝陽の１階集会室にピアノを設置するのはスペース的に難しいと思う。デイサービスの２階多目的ホール２に置く方が良いのではないか。

(利用者)

光陽地区公民館のロビーにある親子文庫事業は引き継がれるのか。高齢者ふれあいセンター朝陽のロビーにも本が置かれているが、子ども向けの絵本は少ない。

(生涯学習部)

機能統合後も親子文庫事業は引き続き行う予定であるが、高齢者ふれあいセンター朝陽のロビーに置かれている書籍とどのようにスペースを分けるか、また統合できるかは、今後検討していく必要がある。

(利用者)

現光陽地区公民館と同様、機能統合後の施設も避難所となるのか。

(生涯学習部)

避難所の指定については、危機管理課の所管である。機能統合後の方針については、危機管理課へ確認の上、次回の意見交換会の場でお示しする。

(利用者)

高齢者ふれあいセンター朝陽の1階に設置しているヘルストロンは、どの程度利用されているのか。利用者が少ない状況ならば、倉庫として改修するのも一案ではないか。

(福祉政策課)

昨年度は延べ200人程度の利用があった。

3. 機能統合後の運営について

(生涯学習部)

- ・運営は地域の団体である朝陽校区町会連合会が行う。
- ・開館時間は9時～21時、休館日を水曜日としたい。夜間開館することで利用拡大を図り、また、現在公民館の休館日は一律月曜日だが、曜日をずらすことによって利用者の利便性を図りたい。⇒意見なし

特にご意見がないようなので、開館時間・休館日については生涯学習部の案で進めていく。

○今後の予定について

- ・第3回意見交換会は7月頃開催予定。開催日は改めてお知らせする。
- ・次回の意見交換会までに、現光陽地区公民館の利用団体を対象に、機能統合後に館で保管する物品の希望調査を行う。